

のり子 奥村の 読者ニュース

2016年5月15日 第219号

——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



参院選和歌山で新たな展開！ 比例は坂口氏、選挙区は由良氏

4月29日付日刊「赤旗」近畿版で紹介しましたように、参議院選挙の和歌山県に関する候補者問題で新たな展開があります。共産党和歌山県委員会が坂口多美子党県平和・くらし委員長が和歌山選挙区からの立候補を取り下げ、参院比例区から立候補すると発表しました。

県内でも安保法制（戦争法）に反対するたたかいは広範な市民が団結して大きな運動になりました。戦争法が強行されたのちも多くの団体・個人が戦争法廃止のために「和歌山選挙区も野党統一候補」をめざし各党に働きかけてきました。このたび、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合わかやま」が、①安全保障関連法廃止②集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回③日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどす、の3項目で参議院選挙和歌山選挙区候補に、由良登信弁護士（写真）を推薦することを決定しました。由良氏はメーデーで「今闘わなければ子や孫に何を残せるのか」と決意表明しました。



そこで共産党は、全国で相次ぎ一人区での野党統一候補が生まれている時、和歌山でも由良氏を先頭に野党と市民の共闘が前進できるように奮闘します。

- のり子の週刊日誌—主なもの—
- 5月13日 近畿いつせい宣伝、会議、地域訪問
 - 14日 講演会（小林節氏）、スリーウエーブ、河西後援会宣伝、産廃住民説明会
 - 15日 菜の花会つどい
 - 16日 社保部会
 - 17日 常任会議、かたりの会、産廃会議
 - 18日 地域訪問、労働者後援会
 - 19日 生活相談日、団会議、環境を考える会

目前に迫った参院選に全力 戦争法廃止へお力お貸し下さい

「市民連合わかやま」安保選挙に係る立候補予定者説明会が法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合わかやまは、参院選和歌山選挙区に、与党候補と対抗する候補者として、弁護士の由良登信さんの擁立を発表しました。

日本共産党は選挙区の予定候補坂口多美子さんは比例候補に変更しました。選挙は真近です。5月27日には選挙管理委員会による参議院選挙区選出議員選

熊本出身者の の寄稿（2面）

をを。アべを。小林節さん講演に期待高まる
十四日午後一時半 開会
和歌山市民会館大ホール

比例代表で立候補

リレートーク Relay talk

昨年8月から、参議院選挙の和歌山選挙区で活動してきましたが、この度、「市民連合わかやま」が由良登信さんの出馬を発表したことにより、私は、比例代表候補として活動することを決意いたしました。

この間、和歌山県中を回るなかで、統一候補を願う声をたくさん聞いてきました。安保法制・戦争法の廃止と立憲主義回復という国民的大義のもとで、今までにない多くの方と力を合わせ、野党共闘を実現させるために頑張ってきた私とし

野党共同と党議席の前進へ

では、この大きな前進に喜びを感じています。

私は今後も変わらず、野党の共同を前進させること、そして、日本共産党の議席を大きく伸ばすために、全力挙げて頑張る決意です。引き続きご支援よろしく願います。



メーデー行進で坂口（右）と由良弁護士（中）



今年度の県の事業計画の説明を受ける共産党県議団（左側）

にしていきたいと思っています。

ぜひみなさまのお宅に日本共産党のポスターを貼らせて下さい。いっしょにハンドマイク宣伝にお付き合下さい。ビラ配布のお手伝いなど力をおかし下さい。決して戦争できる国にさせないためにも、この選挙戦をみなさんといっしょにたたかっています。（奥村のり子）

参院選 比例候補 坂口多美子



熊本市出身の 後援会員から寄稿

震度7の本震を体験 激しい揺れ 逃げることもできず収まりを待つ

最初の地震が起こった4月14日の次の日、私は実家のある熊本市へ帰り、本震を体験しました。揺れは激しく、すぐに逃げ出すことができず、ただ収まるのをじっと待つばかり、その後外へ出て夜が明けるのを迎えました。

運よく家族に怪我はありませんでしたが、叔母の家は瓦が半分ほど落ち、家の中にも亀裂らしきものが見られます。多くの家で壁が落ちたり塀が倒れるなどの被害が見受けられました。

私の体験ですが、一番大変だったのが水の問題でした。震災3日後に水道は復旧しましたが、まだ水は濁っており飲

み水に困っている状況です。避難所生活も体験しましたが、水の必要なトイレが大変。避難所は高校でプールの水をバケツに貯め使っていました。

震災が起こった時すぐに心配になったのが原発の問題です。熊本には近くに鹿児島、佐賀、愛媛に原発があります。津波の起こるような地震ではなかったので無事でしたが、これが関西で起こっていたらどうなっていたでしょう。

幸い和歌山には原発がありません。これは過去何度か関電が建設を行おうとしたときに、地元のみなさんの頑張りでつくられなかったのです。和歌山の運動を誇りと思うと同時に、地震の多い日本にはほんとうに原発は要ら

ないという思いを強くしました。

災害復旧には自衛隊の人も多く入り、地域の安全や救出活動に働いており、とても頼りになりました。自衛隊は他国と戦う軍隊ではなく、このようにときに国民生活を守るための組織につくりかえるべきだと思います。3月に戦争法が施行され、現実の問題として自衛隊が海外に出向き、人を殺し殺される可能性が出てきました。一人の日本人も戦争で殺されないように戦争廃止の運動も頑張りたいと感じました。

(和歌山市 M.Yさん)

義援金7千6百万円被災地へ 引き続きご協力お願いします

日本共産党は全国の党組織で熊本地震救援募金に取り組んでいます。これまで党中央委員会、熊本県委員会、大分県委員会に寄せられた募金は5月6日現在で、8181万1025円です。ご協力に深く感謝申しあげます。

義援金は熊本県、熊本市、益城町、西原村と農業、観光団体へこれまであわせて7600万円届けています。

被害は甚大であり救援募金は引き続きお願いいたします。被害が大きい熊本県12市町村、大分県の2市に義援金を届けます。

送金先などは4月24日付当ニュースでお知らせから変更しています。下記の通りです。物資の送り先は熊本県委員会に変わりました。

物資の送り先

日持ちのする食品が引き続き求められています。

日本共産党熊本県委員会救援物資係
〒860-0041

熊本市中央区細工町2-32
電話 096(322)2700

募金の送り先

日本共産党中央委員会

郵便振替口座

口座番号 00170-9-140321

加入者名 日本共産党災害募金係

*通信欄に「熊本地震」と記して下さい。手数料はご負担願います。



(写真) 総合体育館に避難している人たちを見舞い、要望を聞く志位和夫委員長(中央左)、(左へ) 小池晃書記局長、藤野保史政策委員長ら＝7日、熊本県益城町



(写真) 大西一史熊本市長(右から3人目)に義援金を渡す志位和夫委員長ら党調査団＝7日、熊本市中央区(しんぶん赤旗日刊紙より)

